

「学び・遊び・つなぐ」プロジェクトがスタートしました！

<https://www.tottori-u.ac.jp/institute/docs/5f4c5defed65bde3f77a39ac82de3e5c1a3f69f6.pdf.pdf>



2024年度「鳥取大学の特色ある教員養成方法としての『学び・遊び・つなぐ』プロジェクト」

(学長裁量経費採択事業)がスタートしました。

今回で第11回目となる本プロジェクトは、教員養成センターが2014年度から継続的に実施している事業です。毎年、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員を目指す学生や興味のある学生が多く参加し、教育現場の現状や役割、教員という仕事について理解を深める機会となっています。

「学び」(学びの教室、学びの座談会、学びのパネル)、「遊び」(遊びの教室、ブッククラブ)、「つなぐ」(つなぐ教室、つなぐ座談会、つなぐ仲間づくり、トークプログラム)で構成するこのプロジェクトでは、今年度も鳥取大学で免許取得が可能なすべての学校種の現職教員ほか、幅広い分野からゲストを講師に招き、20を超える魅力的なプログラムを開催します。

10月16日に開催した「つなぐ教室」には、講師として、国際教育家、生涯学習者、パフォーマーとしてご活躍中の岡本啓史氏をお迎えしました。岡本氏は教師、教員トレーナー、ダンサー、料理人のほか、国連、国際NGO、大使館、その他教育機関での勤務経験というユニークな職歴を持ち、45カ国以上への国際教育支援を実施してこられました。(https://linktr.ee/mdhiro)

まずは、世界の10種類の挨拶(握手、会釈、抱擁など)を紹介されたのち、受講者が選んだ方法で、会場の全員と挨拶を交わし、和やかな雰囲気の中で講義が始まりました。様々な国でのご自身の経験や感動に基づくお話は新鮮かつ刺激的で、受講生の心を惹きつけました。

アフリカで頭に物をのせて運ぶ体験や、受講者同士の他己紹介、5感ストレッチ、自分自身の「好きなこと、やりたいこと」を書き出す作業などを通して、自分自身と、他人と、世界と「つながる」90分間になりました。

参加した学生からは、次のような感想が寄せられ、岡本氏のお話が心に刺さった様子が伝わってきました。

「『自分が好きなことやりたいことを書いてみよう』と言われたとき、たくさん書くことができた自分に驚いた。日常生活の中に好きなことがあふれていたことに気づき、私は幸せだと感じた。」

「『選択できることはありがたい』という言葉聞いた時にハッとしました。選択に悩みすぎたり考えるのを放棄している自分が情けなく思った。」

「挨拶ひとつで空気があたたまるのを感じた。子どもたちの心をつかむことに苦戦しているので、使ってみたい。」

「多様な人々や生き方に触れてこられた方だからこそ、説得力や熱量が伝わり、引き込まれるお話だった。」

「もっと話を聞きたかった。」

「今日の講義を受けてみて、もっと自分の好きなことややりたいことに目を向けて選択肢を増やしてもいいのではないか、と感じた。」

11月、12月も引き続き、盛りだくさんのプログラムを開催中です。ぜひ、ご参加ください。



世界のいろんな方法で講師の先生と受講者全員が挨拶



頭に荷物をのせて歩いてみる体験中。「難しい・・・」